

令和 3 年度 墨田区立第一寺島小学校 経営報告書

令和 4 年 2 月 2 5 日

学 校 目 標	人間尊重の精神を基盤として、心身ともに健康で、自主性、協調性、実践力に富んだ子供を育成する。○進んで学習する子○思いやりのある子○からだを大切にする子
目 指 す 学 校 像	スピード感をもって課題を克服していく学校
目 指 す 子 供 像	主体的な挑戦力をもった子供
目 指 す 教 師 像	前向きで使命感に満ち生き生きとした教師

1 自己評価結果と学校関係者評価の状況

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
各教科等指導	学校は、子供に確かな学力を育てるために、分かりやすい授業の実施に努めているか。	A	木曜日の6校時に「キャリアアップタイム」を新設し、算数の基礎学力の充実を図った。学習状況調査の数値は今年も継続して上昇しており、今後も着実に指導の成果を上げていきたい。	A	A
	学校は、特別な支援を必要とする子供に対して、組織的に適切な支援を行っているか。	A	校内委員会での初動対応を迅速に行い、保護者と協議を重ね、関係機関と緊密に連携をとることができた。今後も保護者の理解を得られるよう連絡相談体制を維持していく。	A	A
	学校は、子供の将来の自立に向けた進路指導・相談活動に取り組んでいるか。	B	コロナ禍の影響で隣接中学校・高等学校との交流はできなかったが、オンラインでの企業体験や健康教育を実施し、オリンピックの招聘によってキャリア教育を進めることができた。	B	B
	学校は、教員の指導力・授業力を高めるために組織的に取り組んでいるか。	B	学習状況調査の結果を受けて、課題となる教科指導に力を入れた。墨田区小学校研究会で、2名が専門教科の研究授業を行った。今後も、校内研究授業を実施して指導技術を磨いていく。	A	A
	学校関係者評価委員会の意見等	コロナ禍でも学校は教育水準の維持に努力していた。児童は根気強く活動や学習に取り組んでおり、教職員の日頃の指導の賜であると考え。これからますます ICT 化が進むが、かえって教員の人間力が問われる時代に入ると考えられる。研鑽に励んでいただきたい。			

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
生活指導等	学校は、子供の問題行動の予防や解決に組織的に取り組んでいるか。	A	予防的生活指導を心掛け、「凡事徹底」と「ならぬものはならぬ」を教職員の共通理解のもとで進め、規範意識の徹底を図り積極的に児童の指導にあたった。継続して指導していく。	A	A
	学校は、子供が基本的な生活習慣を身に付け、望ましい人間関係を作るための心の教育を行っているか。	A	「エールウィーク」を新設し、子供の良いところや頑張っているところを認めほめる活動を行うなど、禁止事項中心のルール指導から、相手への思いやりを基調としたマナーの指導を展開した。宿泊行事や校外学習では正しく集団行動ができていく。	A	A
	学校は、子供の安全を確保するための取組を行っているか。	B	コロナ禍でも可能な限りの避難訓練を実施し、通学路点検では登校ルートの安全を確保した。学区内で生じた火災では、機動的に対応することができた。今後も登校班を維持していく。	B	B
	学校は、子供や保護者からの意見や要望を把握し、教育活動の点検や改善に役立っているか。	A	タブレット端末を生かしたメールによるアンケートや必要に応じた電話連絡など、非接触型のツールを活用して保護者や子供との双方向の情報発信を行った。また、コロナ禍でも十分な感染対策をとり、個人面談を年間2回行った。	A	B
	学校関係者評価委員会の意見等	町会との合同避難訓練がこの2年間実施できずにおり、通学班の児童とのつながりを生かして万が一のために顔見知りになっておきたい。個人面談がコロナ禍でも2回実施できたことは有意義であった。今後も問題解決や予防に生かして欲しい。			

様式 4

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
学校の管理運営	学校は、管理職の経営方針に基づき、組織的な教育活動・学校運営を行っているか。	A	教育活動全般にコロナウイルス感染防止の制約がかかる中、前年踏襲をやめ、新たなことに挑戦する魅力的な校風を目指す経営方針が浸透し、教職員は創意工夫に満ちた取り組みを行った	A	A
	学校は、子供の実態に合わせた具体的な目標の設定及び評価を適切に行っているか。	A	生活行動意識調査や学習状況調査、いじめアンケート等による記述式データの他、日常の聞き取りにより実態把握を行い、学習指導や生活指導の見直しを進めてきた。	A	A
	学校には、適切な教育活動が行える環境・設備等が整えられているか。	B	教育委員会庶務課と連携して、老朽化した施設・備品の更新や修繕を迅速に行った。日常の安全点検の他、小さな異変も情報を関係部署で共有し複数の目で確認して対応した。	A	A
	学校関係者評価委員会の意見等	創意工夫に満ちた取り組みを行うことは、児童の自主性に通じると考える。コロナ禍、教員不足、業務多忙など学校を取り巻く状況が厳しい中で、日々、先生方がご苦労されている様子がうかがえた。たゆみないご努力に、感謝している。			

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
家庭・地域連携	学校は、教育方針や日常の教育活動の様子などを分かりやすく伝えているか。	B	コロナウイルス感染防止対策を十分にとり、運動会と授業公開（1回）で保護者参観の機会をとった。今後は一層、タブレット端末を利用して教育活動の様子を保護者に伝えていく。	B	A
	学校は、保護者や地域の理解や協力を得て教育活動を進めているか。	C	コロナウイルス感染防止対策のため、保護者の来校機会は減少し、地域の方を招聘する活動は全く実施できていない。	C	B
	学校関係者評価委員会の意見等	交流活動に制限がかかっている状況下、仕方がないが、その中で運動会を参観することができたのは非常に良かった。地域住民としては、学校ホームページでしか様子を知り得ないので、学校から発信する情報を一層充実させて欲しい。			

2 令和3年度学校評価のまとめ

<p>・全ての家庭から回収したアンケート結果によると「児童は楽しく学校に通っている」と「学校行事について満足できる」についてコロナ禍の影響があり、「不明・分からない」との回答が増え、前年比-4ではあるが91%の好意的な評価を得た。また、児童の規範意識の育成を問う設問では、好意的な評価が95%となった。数値からも、授業規律が確立されて学校全体が落ち着いた状況であることを示している。今後も予防的で丁寧な生活指導を継続し、いじめや不登校の対応を機動的に行っていく。</p> <p>・次年度も続くであろうコロナウイルス感染防止対策に配慮しながら、可能な限り教育活動に幅を広げて地域、家庭との連携を拡充していきたい。</p>
